

授業科目名 (英語表記)	災害の文化と地域の祭礼 (Disaster Subculture and local festival)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	平田 隆行、宮定 章、山神 達也、吉村 旭輝		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 1月7日(土) 13:00~17:00	第4回 1月28日(土) 13:00~17:00	
	第2回 1月14日(土) 13:00~17:00	第5回 2月4日(土) 13:00~17:00	
	第3回 1月21日(土) 13:00~17:00	第6回 2月11日(土) 13:00~17:00	

#### 【授業の概要・ねらい】

阪神・淡路大震災で被災した灘区、東灘区の復興では、翌年5月に行われた「だんじり」が大きな役割を果たした。中越地震で大きな被害を受け、全村避難状態にあった山古志村では「牛の角突き」が執り行われた。東日本大震災の原発事故において避難指示を受けていた南相馬は、「相馬野馬追」が有名だが、この祭礼も多くの馬が流されたなかで執り行われた。陸前高田をはじめ、街の復興のシンボルとして祭りの復活を掲げ、そこに向かって復興に邁進する地域は数多く見られる。大災害で大きな痛手を負ったにも関わらず、祭礼という一見「無駄に見えるもの」に向かうのはどういうことなのだろうか。災害の記録を残し、地域住民に継承させる地域や、神社や地蔵の位置そのものが災害履歴を示す地域もある。泉州地域は、「だんじり」や「ふとん太鼓」の祭礼が盛んな地域である。2018年の台風21号災害の直後、祭り組織の強力な結束力によって、路上の片付けを行った地区もあったと聞く。

ここでは、災害と文化、あるいは祭礼との関係にスポットを当て、各地の災害とそれを乗り越える生活文化を考えていく。

#### 【授業計画】

第1回 災害文化と定住の祭祀	平田 隆行 (システム工学部准教授)
第2回 災害と文化	宮定 章 (災害科学・レジリエンス共創センター特任准教授) ゲストスピーカー 林 勲男 (国立民族学博物館 名誉教授)
第3回 霊性の震災学	平田 隆行、宮定 章 ゲストスピーカー 金菱 清 (関西学院大学 社会学部教授)
第4回 地形地質と災害の文化	平田 隆行 ゲストスピーカー 後 誠介 (和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター客員教授)
第5回 古座川の暮らしと災害	山神 達也 (教育学部准教授)、吉村 旭輝 (紀州社会経済研究所准教授) 平田 隆行、宮定 章
第6回 泉州の祭りと災害	吉村 旭輝 まとめのワークショップ 平田 隆行、宮定 章

#### 【到達目標】

災害文化とは何かを説明することができる。祭礼の持つ意味と力を学び、人に説明することができる。

心の面から、災害を乗り越えるための知恵を習得し、その意義を説明できる。

「不要不急なもの」とは何かについて、より深みのある議論ができる。

#### 【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回に設けるディスカッションおよび、レスポンスカードをもとにします。

授業への積極参加(オーラルなディスカッション)70%、文章形式でのレスポンス30%とします。

#### 【教科書】

特にありません。

#### 【参考書・参考文献】

- 災害文化の継承と創造：林 勲男，橋本裕之編      ○震災学入門：死生観からの社会構想（ちくま新書）金菱清
- なぜ大災害の非常事態下で祭礼は遂行されるのか：植田今日子
- 震災と芸能ー地域再生の原動力：橋本裕之，追手門学院大学出版会

#### 【履修上の注意・メッセージ】

通常の授業連絡や参考文献の参照にPCは必ずしも必要ではありません。タブレットやスマートフォンで対応可能です。

#### 【履修する上で必要な事項】

特になし。

#### 【授業時間外学修についての指示】

だんじりやふとん太鼓など、お住まいの地域の祭礼について、調べておいてください。また、国内で自然災害が発生した際には、報道・行政の発表、専門家の発言など、各自で情報を集めておいてください。

#### 【授業理解を深める方法】

数多く出版されている図書、学会・自治体が行うオンラインセミナー、NHKスペシャルやクロ現など、災害にかんする調査報道番組、ドキュメンタリーをご覧になることをお勧めします。また、防災士講座も受けられると良いかと思えます。なお、担当者(平田)は、災害関連のテレビ放送を数百本単位で録画しています。